



札幌市立桑園小学校 学校だより
www. soen-e. sapporo-c. ed. jp
令和8年6月2日第2号
※帰宅時刻は17時です

運 動 会

教 頭

運動会では、多くの皆様にご来校いただき、温かなご声援をいただきました。ありがとうございました。

子どもたちは、それぞれの競技に真剣に取り組み、仲間と声を掛け合いながら、一人一人が力を発揮しようと頑張っていました。当日の姿はもちろんですが、そこに至るまでの練習の積み重ねの中にも、子どもたちの成長を感じる場面がたくさんありました。

私自身、運動会という行事には特別な思いがあります。私が小学生だった頃の運動会は、地域のお祭りのような一日でした。朝早くから場所取りをする大人たち。お昼には、グラウンドでお弁当を食べ、競技が終われば帰り道で会った近所の方から「頑張ったな。」と声を掛けてもらう。学校だけではなく、地域全体で子どもたちを見守ってくれていた、そんな温かな記憶として残っています。

時代が変わり、運動会の形も少しずつ変わってきました。昔のようにお弁当を囲む姿は、今ではなくなりました。しかし、子どもたちを応援したいという思いは、今も変わっていないのだと今年の運動会でも感じました。特に印象的だったのは、保護者の皆様が互いに譲り合いながら参観してくださる姿です。競技に合わせて自然に場所を譲り合い、多くの子どもたちに拍手を送ってくださっていました。その温かな雰囲気が、運動会全体を優しく包んでいたように感じます。

また、転んでも最後まで走り切る子、友達に「大丈夫？」と声を掛ける子、係の仕事を黙々と続ける子など、競技の結果以外でも、子どもたちの成長がたくさん見られました。子どもたちは、運動能力の向上だけではなく、周りの人たちとの関わりの中でも多くのことを学んでいるのだと思います。

この運動会のように学校で育てることのできる力はたくさんあります。しかし、学校だけでは育たない力もあります。家庭や地域の皆様に見守られながら、少しずつ成長する力もあるのです。今回の運動会で、たくさんの声援に力をもらい頑張ろうとする子どもたちの姿から、そのことを改めて感じました。

桑園小学校は、まもなく100周年を迎えます。時代とともに学校の姿や行事の形は変わっても、子どもたちを大切に思う気持ちは、これからも変わらず受け継がれていくのだと思います。

これからも、学校・家庭・地域が共に子どもたちを見守りながら、その成長を支えていければと思います。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



1991年の運動会
教頭 10歳の運動会

児童からの発信コーナー 今回は全校委員会、委員長から保護者・地域の皆さまへのメッセージです。
クロムブックを使って子ども自身が文章を作成しています。

全校委員会からのお知らせ

全校委員会 委員長

今年の全校テーマは、「ひろげよう くわっこのえがお」です。